

大糸線沿線地域における取組などについて

令和8年4月28日

○平成31年以降、各団体において大糸線の利用促進のため取り組まれている

観光・イベント ※[R7実施時期、参加(利用)人数]

- ✓【大町】四季のハイキング企画[4~11月、95名]／謎解きイベント[7~11月、1,524名]
- ✓【白馬】JR白馬駅前ストリートフェス[8月、2,500名]
- ✓【糸魚川】鉄道の日記念イベント・JR大阪駅イベント[8月・10月、5,100名]
- ✓【小谷】駅メモ コラボイベント[9月] 他

鉄道利用型企画

- ✓【小谷】夏の柵池自然園お得旅きっぷ[7~9月、10名]／利用促進ツアー[11月、30名]
- ✓【糸魚川】企画列車（子供車掌体験・サイクルトレイン・雪月花乗入）[8~11月、73名] 他

利用支援・環境整備

- ✓【糸魚川】イベント・定期券助成[通年、1,259名]／輪行バッグ貸出[通年]
- ✓【小谷】大糸線利用者 食事代補助[6~3月、146名]／教育活動での鉄道利用補助[6~3月、28名]
／中土駅 シェアサイクルステーション[通年] 他

おもてなし・情報発信

- ✓【大町】リゾートビューふるさとおもてなし事業[通年、4,567名]／大糸線特設サイト[通年]
- ✓【白馬】駅利用者歓迎おもてなし企画[7月、120名]
- ✓【小谷】SNS発信『未来へつなごう大糸線！』[通年]
- ✓【糸魚川】SNS情報発信[通年] 他

各沿線の取組

1 これまでの市独自の取組状況

大糸線活性化協議会事務局として、利用促進の取組を企画・推進

(1) イベント助成（大糸線利用促進事業助成金）

【事業概要】 大糸線（糸魚川駅～南小谷駅）区間の利用を条件としたイベント等の事業費に対して9/10助成するもの。

【実施状況】 R5年度：助成43件 参加者数891人（糸24、小12、白5、大2）
R6年度：助成53件 参加者数978人（糸28、小11、白5、大9）
R7年度：助成70件 参加者数1,237人（糸32、小30、白1、大7）

【活用事例】 野歩路山の会「白馬岳から白馬三山を縦走する憧れのロングコース」車の予定から大糸線へ変更し、糸魚川駅～白馬駅間を9名往復利用

【取組による効果】 年々助成件数が増加し、大糸線の利用促進につながっているもの。次回事業を計画の際、大糸線を交通手段として考えるきっかけとなり、マイレール意識の醸成へ。



大糸線子ども車掌体験

(2) 定期助成（大糸線利用促進助成金）

【事業概要】 大糸線（糸魚川駅～南小谷駅）区間を含む通勤・通学定期券購入費に対して5/10助成するもの。

【実施状況】 R5年度：助成26件（通学9件、一般（通勤）17件）
R6年度：助成34件（通学22件、一般（通勤）12件）
R7年度：助成22件（通学15件、一般（通勤）7件）



雪月花大糸線乗り入れ

【取組による効果】 生活利用について、沿線人口の減少と少子高齢化の影響を受けていると思われる。

1 これまでの村独自の取組状況

(1) 駅メモ コラボイベント

【事業概要】

①スマートフォン向けゲーム「ステーションメモリーズ！」において、JR西日本、糸魚川市と連携し、『「JR西日本・小谷村・糸魚川市」×「駅メモ！」シリーズコラボキャンペーン～れんげと巡る～美しき姫川渓谷と大糸線の旅～』を令和6年8月から3か月間実施。

②上記キャンペーンで作成した等身大パネルを活用し、令和7年9月から「大糸線に乗ろうキャンペーン」を実施。車内等から等身大パネルを撮影することでミッション達成グッズ配布となるイベントを実施した。

【実施状況】開催期間中、観光客や若年層の来訪が増加。ノベルティ配布の早期終了及び、グッズ販売も好調となり、村内の観光スポットや特産品の認知度向上に寄与した。

(2) 中土駅 シェアサイクルステーション

【事業概要】中土駅を拠点として、観光客向けにスマホ決済によるデジタルシェアサイクルサービスを提供。中土駅にて下車しシェアサイクルで地域の自然や観光スポットを気軽に楽しめる環境を整備し、スタンプラリーも開催した。

【実施状況】駅周辺の観光スポット(雨飾山・小谷温泉方面)や飲食店へのアクセス向上を実現。地域の回遊性が向上し、地元経済の活性化にも貢献。



1 これまでの村独自の取組状況

(3) 「大糸線使って食べに行こうよ!」キャンペーン

【事業概要】

大糸線を利用して食事をした方を対象に、食事代の75%の地域商品券を交付するキャンペーン。

大糸線活性化協議会の利用促進事業助成金を活用した方で飲食を行った方を対象に、移動費やイベント経費等の支援を行い、大糸線の利用促進を図る取組。

【実施状況】

実施期間中、利用者から好評を得ており、大糸線を利用して忘年会やママ友会等での外出及び飲食を行う動機づけとして効果が見られた。また、利用者数も年々増加が確認される(R6年は6組、R7年度は16組)など、大糸線の活性化や地域経済の振興にも寄与している。

2 取組による効果

各取組の実施により、大糸線の利用促進に加え、沿線地域への誘客、村内の周遊促進及び地域内消費の喚起が図られた。ゲームコンテンツを活用した情報発信、二次交通の確保、飲食利用支援を組み合わせることで、来訪の動機づけから現地での移動、消費行動まで一体的な促進につながった。利用者の反応も良好であり、大糸線活性化に向けた一定の成果があったものと認識している



大糸線使って食べに行こうよ! キャンペーン

キャンペーン期間> 令和7年6月6日(金) ~ 令和8年3月31日(火)

期間中、大糸線を利用して食事に行くと、小谷村地域商品券がもらえるキャンペーンを開催します!

商品券をもらうには

1. 大糸線活性化協議会が実施する利用促進事業助成金に応募する(大糸線を含む移動費・施設使用料・イベント費など9割を助成)
2. 助成金事業終了後、食事の領収書を観光商工係に提出
3. 後日、小谷村地域商品券を郵送

・1名あたりの助成率は75%で、助成額は上限3,000円です。(1,000円未満は切捨て)
例)4名で食事した場合、飲食代20,000円×4名=5,000円×75%=3,750円→1名あたり3,000円の助成3,000円×4名分(12,000円)の小谷村地域商品券を支給します。

・助成金の交付は現金ではなく**小谷村地域商品券**となります。

・申請時に飲食代がわかるレシートや領収書などをお持ちください。

・予算に達し次第、終了となります。

お問い合わせ
小谷村大糸線振興会(旧博観地産工係)
電話: 0261-82-2585 メール: kanko@vil.star.lg.jp



【中土駅開業90周年イベント】

1 これまでの村独自の取組状況

(1) JR白馬駅前（はくば通り）ストリートフェス

【事業概要】

村内の主要幹線の一つである、白馬駅前交差点から八方入口交差点までの県道白馬岳線・道路愛称「はくば通り」の無電柱化と、駅前活性化を目的とした「はくばストリートフェス」は、昨年（2024年）で第3回目を数え、地元関係者や観光大使、住民、来訪者が集い触れ合う新たな恒例イベントとして定着しつつある。

【実施状況】

- ・ 第3回 2025年8月30日（土）来場者数：約2,500人
- ・ 第2回 2024年8月31日（土）台風により中止
- ・ 第1回 2023年9月 2日（土）来場者数：約2,000人



「DJ駅長」こと古畑白馬駅長のDJパフォーマンスは毎年人気の催しの一つ

(2) JR白馬駅 利用者歓迎おもてなし企画

【事業概要】

グリーンシーズン中の特定日や記念列車運行時等において、特急あずさ号やリゾートビューふるさと号を利用して白馬駅で下車したお客様に対し、白馬高校生等による歓迎セレモニーや公式キャラクターでのお出迎えをはじめ、紫米おこわ、温泉まんじゅう等の特産品や麦茶等による振る舞いを実施。

【実施状況】

- ・ JR白馬駅構内及び改札口における振る舞い（実施の場合は毎年7月下旬頃）



2 取組による効果

- ・ 来訪者への効果としては、旅ナカにおけるの第一印象が向上し感情的価値が向上したものと見られる。また、特産品の認知度向上と購買行動への転換による飲食店・土産店等地元事業者への波及効果が促進された。

1 これまでの市独自（大糸線利用促進輸送強化期成同盟会）の取組状況

(1) 大糸線プロモーション事業 特設サイト

【事業概要】

ホームページを作成し、大糸線・沿線地域の魅力情報の発信（R6.7.17～）

【実施状況】

特設サイト「いとしの大糸線」ホームページの運営、沿線自治体の紹介など



(2) 大糸線プロモーション事業 謎解きイベント

【事業概要】

大糸線全線を舞台とした謎解きイベント

【実施状況】

令和6年度 「9つの物語」

令和7年度 「宝石の魔女ガーネットと3つの物語」



2 取組による効果

- ・令和6年7月から特設サイト「いとしの大糸線」を開設。開設からの訪問者数 89,195人（R8.3.31現在）
- ・大糸線に乗って行う謎解きイベントにより、大糸線全線への集客を図る。参加者累計 2,499人（R8.3.31現在）
- ・大糸線プロモーション事業によって、大糸線と沿線地域を知っていただき集客につなげた。